

新成人代表者と市長との懇談会

昨年11月、新成人代表者10名が熊谷市長と八戸のまちづくりについて懇談しました。



〒362-8544 熊谷市 熊谷教育課 43-9154

【新成人】(写真・敬称略・前列左から)松坂優生、横町春月、畑内愛佳、坂本ひかる(後列左から)坂本明日翔、熊谷風音、堀合遥希、畑中啓希、福島凜、畑中ほのか【八戸市】熊谷雄一市長、伊藤博章教育長【進行】外館友之公益社団法人八戸青年会議所理事長(当時)

将来の目標・八戸への思い

出席者の皆さんに「二十歳の抱負」を聞きました。

まつさか ゆい 松坂 優生さん



将来は、患者の一番近くで命を繋ぐ専門看護師になりたい。八戸は人と人の繋がりが強く、優しさあふれる街だと思う。

よこまち はづき 横町 春月さん



将来は、市内で活躍する介護福祉士になりたい。八戸は、幅広い世代の人々が楽しめる観光スポットが充実していると思う。

はたない まなか 畑内 愛佳さん



地域と深く関わる職業に就きたい。八戸について、自然はもちろん、文化についてももっと知り、発信していきたい。

さかもと ひかるさん 坂本 ひかるさん



将来は祖母や母のように保育士になり、いずれは託児所を始められるように頑張っていきたい。八戸の人は明るく、やさしい人が多いと感じる。

さかもと あすか 坂本 明日翔さん



育ててくれた家族や支えてくれた人々に深く感謝し、責任ある行動を心掛けたい。八戸は豊かな自然が近くにあり、朝市や市場が魅力だと思う。

くまがい ふうと 熊谷 風音さん



将来は建築家として、八戸の地域活性化やコミュニティの創出に貢献したい。八戸は、都市と自然の調和がとれた住みやすい街だと思う。

ほりあい はるき 堀合 遥希さん



夢や目標はたくさんあるが、さまざまなことに挑戦をして、地域に貢献したい。八戸は雪も少なく住みやすい自然環境であると感じている。

はたなか ひろき 畑中 啓希さん



将来は建設機械関係で働く。道路や建物の機械整備を通して社会貢献をしたい。八戸は飽きることのない街。もっと好きになっていきたい。

ふくしま りん 福島 凜さん



将来は地域に密着した病院で働く看護師になり、少しでも八戸に貢献したい。責任ある行動を心掛け、胸を張れる大人になれるよう努力したい。

はたなか ほのかさん 畑中 ほのかさん



福祉の面から地域の人々を支える仕事に就きたい。自然豊かな風景と、都会的な風景の二面性があるところが八戸の魅力だと思う。

中心街のまちづくり



中心街の施設や横丁の回遊性向上のため、観光案内板や周辺地図などにデジタルサイネージを用い、リアルタイムで情報を更新できるようにしてはどうか。(熊谷)

中心街の路上喫煙や受動喫煙防止対策として、喫煙者にも配慮した屋外喫煙ブースを設置することで、皆が過ごしやすくなると思う。(坂本明日翔)



市長より

中心街にある施設をいかに連携し、回遊性を高めていくかが課題。看板のデジタル化など、看板をまちづくりに活用するという視点は、今後の参考にしたい。

受動喫煙をなくすることが基本的な考えだが、一方的に規制するのではなく、喫煙者へも配慮した提案は、皆が過ごしやすいまちづくりという観点で貴重な意見だと思う。

移住・人口減少対策



八戸の素晴らしい資源を、もっと活用できるのではないかと。YSアリーナや美術館、種差海岸などの特色を活かしたイベントを誘致し、UIJターンや観光につなげていければいい。(堀合)



地域の特色を知る地域住民が中心となり、地域の住みやすさなどを広めることで、Uターン者や移住者の増加につながるのではないかと。(畑中ほのか)



八戸市は女性の活躍を推進する優良企業を紹介しているが、そのような取り組みをもっとアピールすれば、移住する人も増え、人口流出を抑制できるのでは。(畑内)

市長より

八戸の魅力を活かしきれていないということは同感である。若い人達の意見もいただきながら、YSアリーナなどでのイベントも積極的に行っていきたい。

地域の住民が移住者のことを意識しながら、地域の魅力を再発見し、SNSを活用して情報や意見を交換するという考えは、移住者の増加につながるすばらしい提案だと思う。

八戸の若者や女性の活躍の様子をもっと知ってもらい、移住者だけでなく、一度県外に出た人も戻ってきてもらえるような環境づくりを引き続き進めていきたい。



子育て環境



子どもの遊び場である公園に防犯カメラを設置し、地域の人たちにも見回りをしてもらえれば、安心して外で遊ぶ子どもが増えると思う。(坂本ひかる)

市長より

子どもたちが外で自由に遊べるような安心安全なまちづくりのため、防犯カメラの設置も含めて、市として何ができるかを考えていきたい。



情報発信



住みよいまちづくりのために、市でさまざまな事業が行われていることを知らなかった。素晴らしい事業計画を多くの人に知ってもらうため、文字のみではなくSNSでの動画や写真を活用し、情報発信してはどうか。(松坂)

道路整備を行う場合には、安全な通行ができるよう、事前にSNSなどを活用して、周知してはどうか。(畑中啓希)



＼市長より／

SNSを活用しながらどんどん情報発信して、市民の皆さんに理解していただくとともに、意見もいただきながら、今後のより良いまちづくりにつなげていきたい。

超高齢化社会への対応



介護人材不足対策として、小中学生を対象とした福祉についての対話集会を開くことで、福祉への興味関心と助け合いの心が芽生え、将来の介護職を目指すきっかけになるのではないかと。(横町)

高齢者にやさしいまちづくりとして、通院や買い物の交通手段であるバスの本数を増やし、近くにバス停のない地域を経由する小型バスを導入してはどうか。(福島)



＼市長より／

超高齢化社会を控え、介護人材のさらなる不足が予想される中、市独自の対策として、小中学生に向けた対話集会はとても大切な事だと考える。

公共交通機関の在り方については、今後の人口減少も踏まえながら、考えなければならない課題であるため、いただいたご意見を参考にしていきたい。

応援メッセージ

＼市長より新成人へエール／

意見交換を通じて、皆さんの相手を思いやる気持ちを強く感じた。この気持ちをいつまでも忘れず、夢と目標の実現に向け、一日一日を大切にしながら頑張っていってほしい。



＼教育長より新成人へエール／

コロナ禍で不安な日々が続いているが、人と人との絆を大事に、相手を思いやることができる大人になってほしい。また、夢を実現するために人一倍努力することを忘れずに頑張っていってほしい。



＼理事長より新成人へエール／

新成人の皆さんには、郷土を愛し、進取の精神で、困難な課題にも積極果敢に挑戦する社会人として大きく羽ばたき、活躍してほしい。

